

令和3年度 第4回 神戸中学校学校運営協議会 実施報告書

- 1 日 時 令和3年10月7日（木）18：00～19：35
- 2 場 所 神戸中学校会議室
- 3 出席者 委員：是枝徳義，山本陽子，林佳代子，阿部雅登，兼丸良政，
北村 武，高山 剛，松嶋康博，木村元彦（学校長）
学校教職員：草川哲郎（教頭），樋口智己（教頭），
早川宜成（教務主任），幸田則仁（研修主任），
青木有紀（学力向上担当）

4 あいさつ（委員長）

新型コロナウイルスの影響で臨時休業になっていた学校も再開され、やっと2学期が始まった気がする。

学校西側県道のガードパイプの工事も始まり、10年越しの要望がやっとかなうことになった。

全国学力・学習状況調査の結果が報告されるが、小学校で学力向上に頑張っているので中学校でも頑張してほしい。

5 報告

(1) 第3回学校運営協議会実施報告書

学校長から、事務局で取りまとめた実施報告書の確認を依頼し、了承を得る。

(2) 学校や生徒の様子について（別紙学校通信等）

学校長から、発行済学校通信等をもとに最近の学校生活の状況やオンライン授業の実施状況について説明する。

また、研修主任・学力向上担当・教務主任から、オンライン授業の実施について教職員相互で情報共有を行いながら取り組み、一定のことは果たせたと捉えていることや、Meet 機能又はチャット機能を活用することで生徒の授業の感想を把握することもできたことなどを説明する。また、教員も生徒への課題提示をいろいろ工夫しながら提示していたことを説明する。

一方で、個別対応はなかなか困難であり、現在対面授業で補っていることを説明する。

(3) 学校行事や地域行事への参加について

学校長から、今後の2学期中の学校行事や地域行事の予定等について説明する。

(4) 通学路等危険箇所再点検報告について

学校長から、教育支援課からの要請に基づき本年度実施済みの通学路等危険箇所点検に基づいた状況報告を再度行ったことについて報告する。

（委員からの意見等）

・今後、学校が始まって **Chromebook** は使っていくのか。

（研修主任）今後も授業で様々な活用を行っていく考えである。

- ・臨時休業中，オンライン授業は先生や友だちの顔が見られて良かったといった声が聞かれた。
- ・Chromebook を，割れ物を包装するシート（フチフチ）に入れて持ち帰りさせたことで学校の先生に褒められた。
持ち帰りのカバーがあれば良いと思ったが，破損などはなかったのか。
（学校長）不可抗力によると考えられる破損が1台あったが，無事取り扱うことができていた。カバーなどは，現状として準備してはいない。
- ・Chromebook は，もともと衝撃に強い機種が選定されている。
- ・学習ソフトはインストールされているのか。
（研修主任）ミライシードと呼ばれる自主学習用祖父 tp などがインストールされており，活用している。
- ・今後も上手に活用していければよいと思う。
（学校長）オンライン授業を Chromebook 活用の好機と捉え，今後も有効活用できるよう様々な取組を促進していきたい。

6 協議

(1) みえスタディ・チェック及び全国学力・学習状況調査の結果について

学校長・研修主任・学力向上担当から，みえスタディ・チェック及び全国学力・学習状況調査の結果について概要を説明する。

- ・国語科だけ，数学科だけといった取組では，求められている学力を培っていくことはできず，教科横断的に学力向上に取り組んでいくことが求められている。
- ・家庭学習の在り方については，今後検討が必要である。
- ・社会で生きて働く力，社会生活で実際に使うことができる力を培っていく必要がある。
- ・今後の課題として，読み取る力と表現する力を培っていくことが必要と考えている。
- ・どうしてそのように解いたのか，どうしてその公式を用いたのかなど，話し合ったり，相談したりする場面が必要となっている。
- ・2年生数学科では，習熟度別学習を実施することで生徒の学びたい内容に応じた学習を実施している。

(委員からの意見等)

- ・読解力を高めるためには，読書活動がやはり一番効果的なのだろうか。ただ読むだけでは，なかなか読解力はつかないのではないかと。

（研修主任）読書は有効と考えるが，目的を持って読むことが大切と思う。

読書習慣を作るとともに今，何について話をしているのか確かめる場面を作ったり，今，どんな話し合いがされていたのかをまとめる作業などを取り入れていく必要がある。読書以外の場面でも，読み解く力や表す力は培っていけると思う。

- ・長文を読み取るには、集中力が必要になってくると思われるが、小学校段階から家庭で学習する時間を決め、集中して学習に取り組む習慣付けが必要ではないか。また、苦手な部分、足りない部分を補っていくことに目を向けていくことが大切ではないか。
- ・調査結果に一喜一憂しなくても良いが、土日曜日の家庭学習の時間が低い。家庭学習を定着させていくための方策を考える必要があるのではないか。
(研修主任) 期末テスト前に家庭学習週間を設定する予定だが、どのような形で家庭の力を借りていけるのか、協力してもらいたいことを提示するなど考えていきたい。
- ・(学校長) PTA との連携を考えていく必要があると考えている。
- ・平日に集中して取り組み、土日曜日は学習をしないなどのメリハリをつけている生徒もいるだろう。一概に勉強する時間だけではなく、土日曜日の使い方考えることが必要だろう。
- ・家庭学習の時間を決めておくことがやはり必要ではないか。塾だけではなく、家庭学習が大切なことを伝えてほしい。
- ・どうやって家庭学習をすればよいのか教えていく必要もあるのではないか。
- ・保護者が、子どもの学習に関心を持ってもらうことも必要ではないか。
- ・子どもたちが、自分の意見を発表する場はどれくらいあるのか。
(研修主任) 国語は言語活動が主となるので、授業では書かせて、相談させて、教え合わせて、また書かせて、発表させてといった活動を行っている。どの教科でも、生徒が発表する場面を設けている。
(学校長) 授業だけでなく、現在、生徒会と生徒指導部で校則の見直しに取り組んでいるが、生徒の意見を取り入れていくようにするなど様々な場面で生徒の意見を取り入れるように努めている。
- ・高等学校でも、自分の考えをまとめる力や論理的に物事を考える力が求められている。
(学校長) 教師には、授業をデザインする力や授業のシナリオを作る力が重要となっている。
- ・学校では、学力を高めていくことにしっかり取り組んでほしい。

(2) 神戸中学校区小中連携及び校区学校学校運営協議会について

学校長から、校区小中学校連携組織体制構想及び校区学校運営協議会を1月頃に開催したい考えについて説明する。

(委員からの意見等)

- ・新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、本年度中には、神戸中学校区として初めてとなる校区小中学校運営協議会委員が集う場を設けたい。
- ・校区の各委員とテーマを設けて情報交換を行うことが必要と思う。
- ・今後の方向性については、今後も考えていきたいと思う。

7 その他

次回の学校運営協議会を、令和3年12月4日(土)9時00分から開催することを確認する。